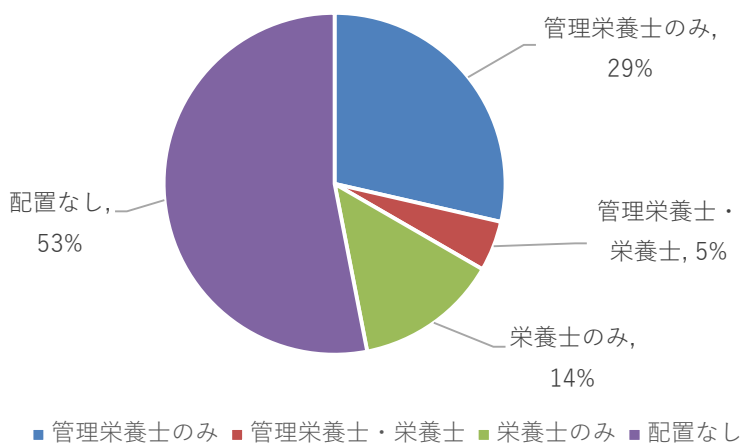


令和5年度「給食管理栄養管理状況報告書」結果のまとめ（学校・幼稚園）

1. 管理栄養士・栄養士の配置状況

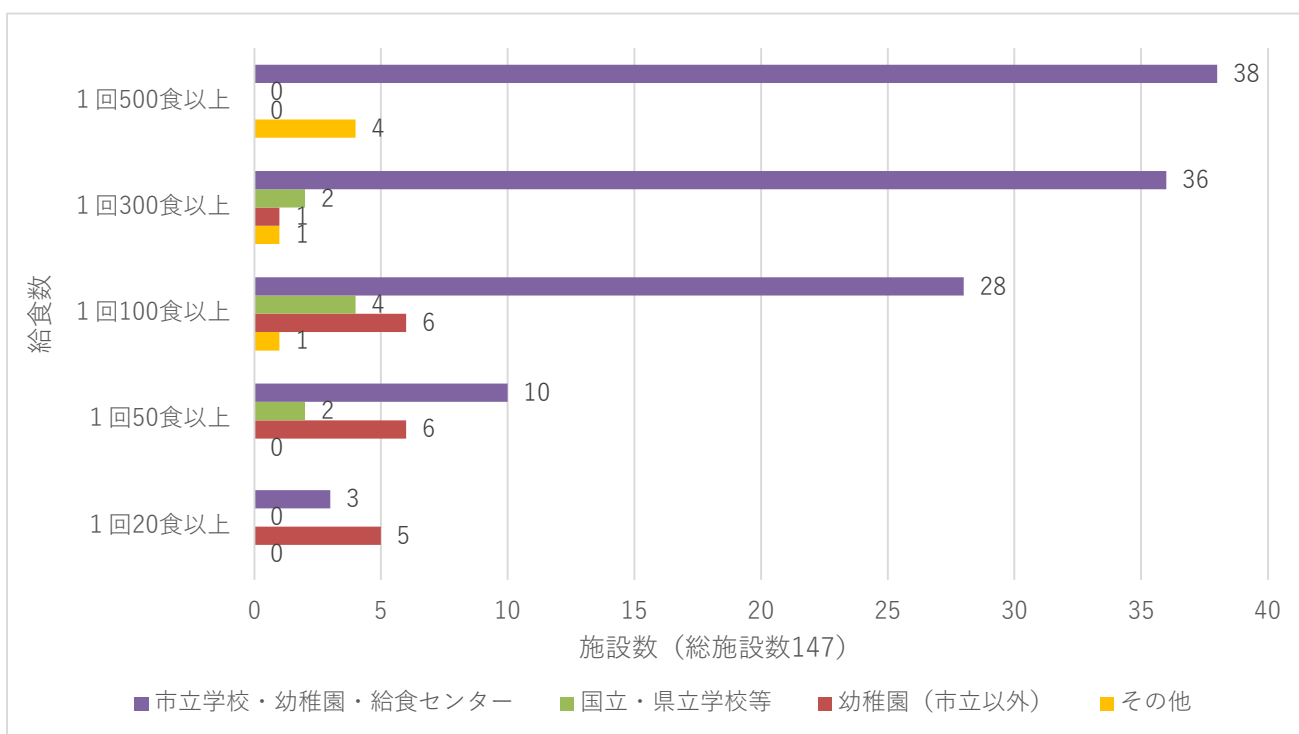


配置	施設数
管理栄養士のみ	42
管理栄養士・栄養士	7
栄養士のみ	20
配置なし	78
合計	147

◎管理栄養士・栄養士の配置率は48%と低い。特に市立学校では兼務での配置が多いため、専任者の配置率が低い状況である。

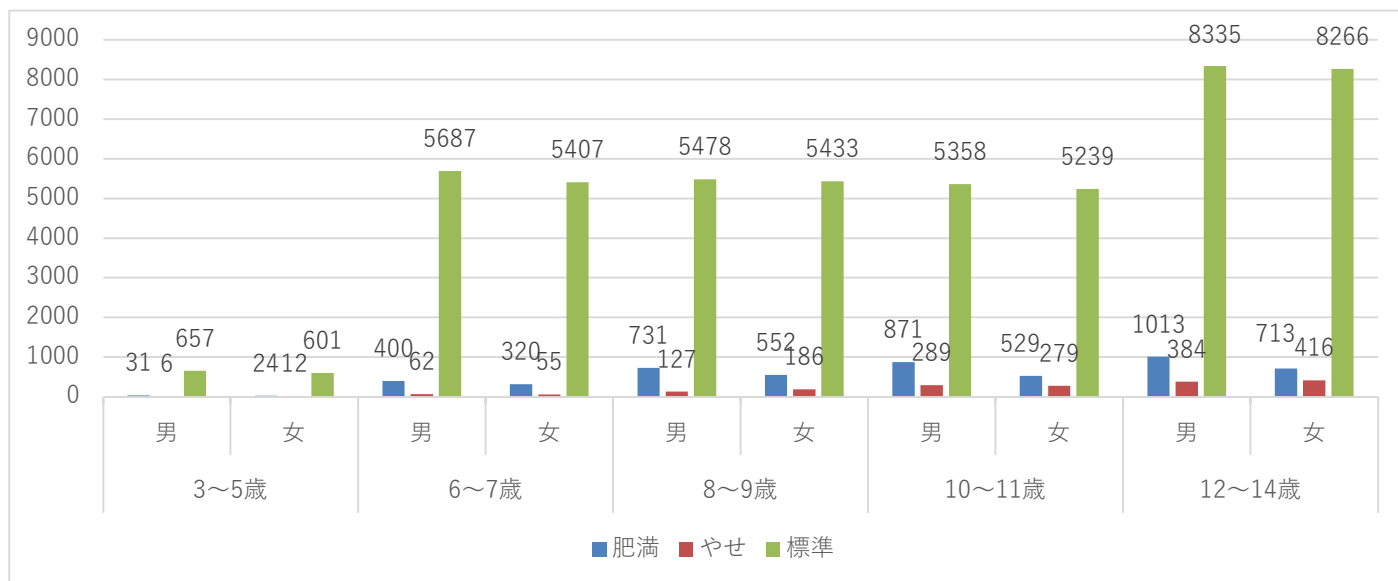
2. 施設状況等

施設種別	総数	1回500食以上	1回300食以上	1回100食以上	1回50食以上	1回20食以上
市立学校・幼稚園 市立給食センター	115	38	36	28	10	3
国立・県立学校等	8	0	2	4	2	0
幼稚園 (市立以外)	18	0	1	6	6	5
その他	6	4	1	1	0	0
合計	147	42	40	39	18	8

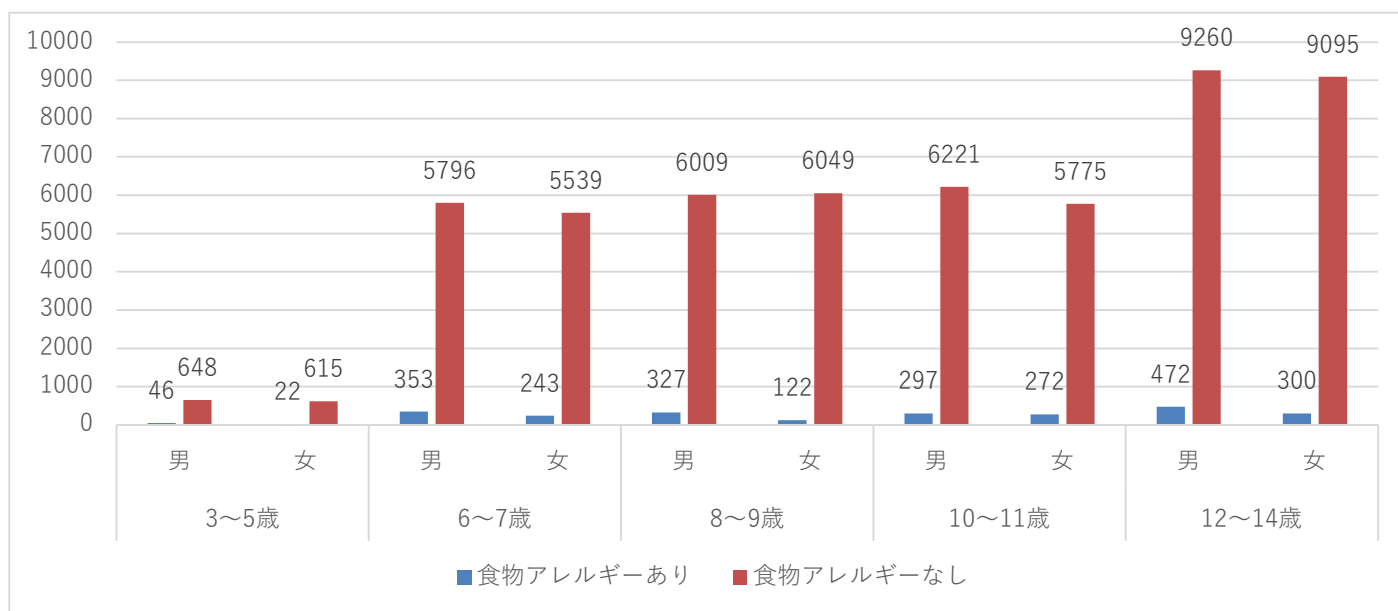


3. 健康状態の把握について

・肥満・やせの報告数



・食物アレルギーの報告数



【肥満・やせの判定について】

学校保健統計の調査方式による肥満度判定方法を用いて判定

*判定基準

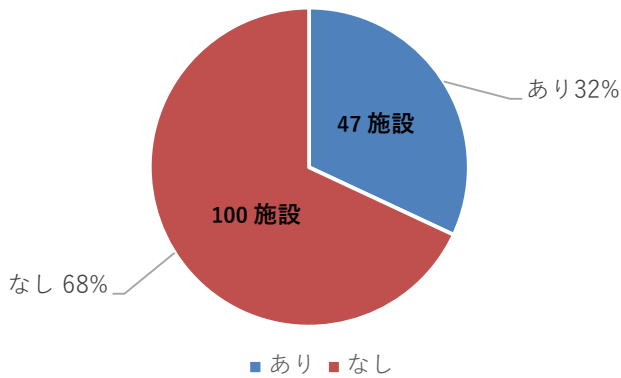
- ・肥満 肥満度+15%以上（乳幼児） 肥満度+20%以上（児童生徒）
- ・やせ 肥満度-15%以下（乳幼児） 肥満度-20%以下（児童生徒）

【肥満・やせ・アレルギー】

- ・受配校と喫食者が重複するセンターは除外（6施設）
- ・喫食者が3～14歳の年齢区分でない施設は除外（6施設）

4. 対象者による給食評価の実施状況

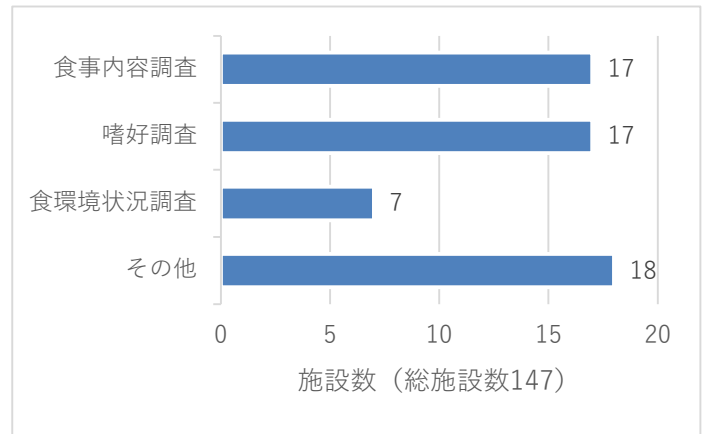
・調査実施の有無



* その他の評価方法内容

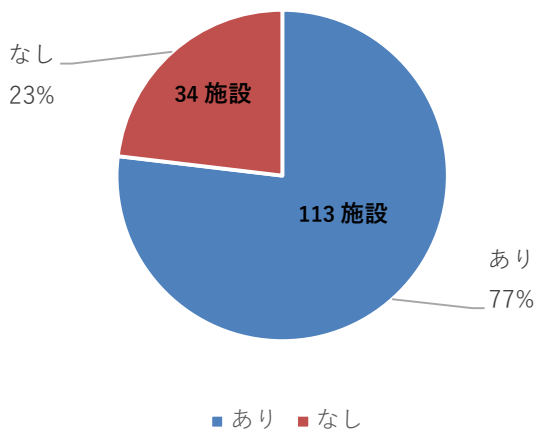
リクエスト・セレクト給食、検食簿の確認、職員の給食会議、児童アンケート、教職員アンケート

・調査内容別件数（複数回答あり）

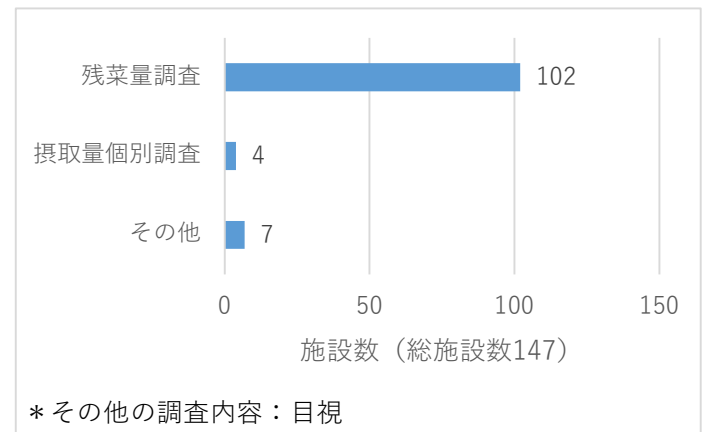


5. 摂取量調査について

・調査実施の有無

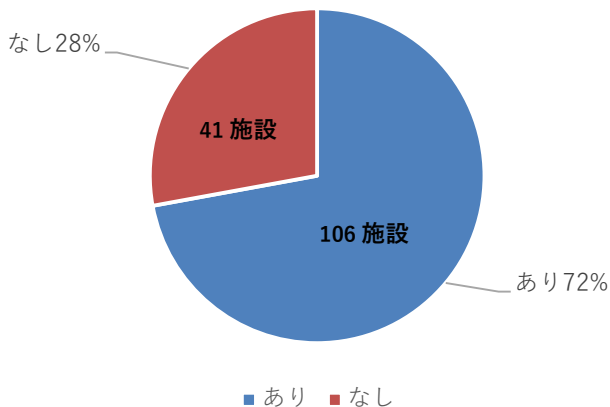


・調査内容別件数（複数回答あり）



6. アレルギー対応

・アレルギー対応の有無



* 「アレルギー対応なし」には、調査時点での **食物アレルギーを有する児童生徒等が0人** の施設（10施設）も含まれています。

7. 塩分（食塩相当量）の給与目標量・給与量の比較

【参考】日本人の食事摂取基準（2020年版）

ナトリウムの食事摂取基準（食塩相当量（g/日））

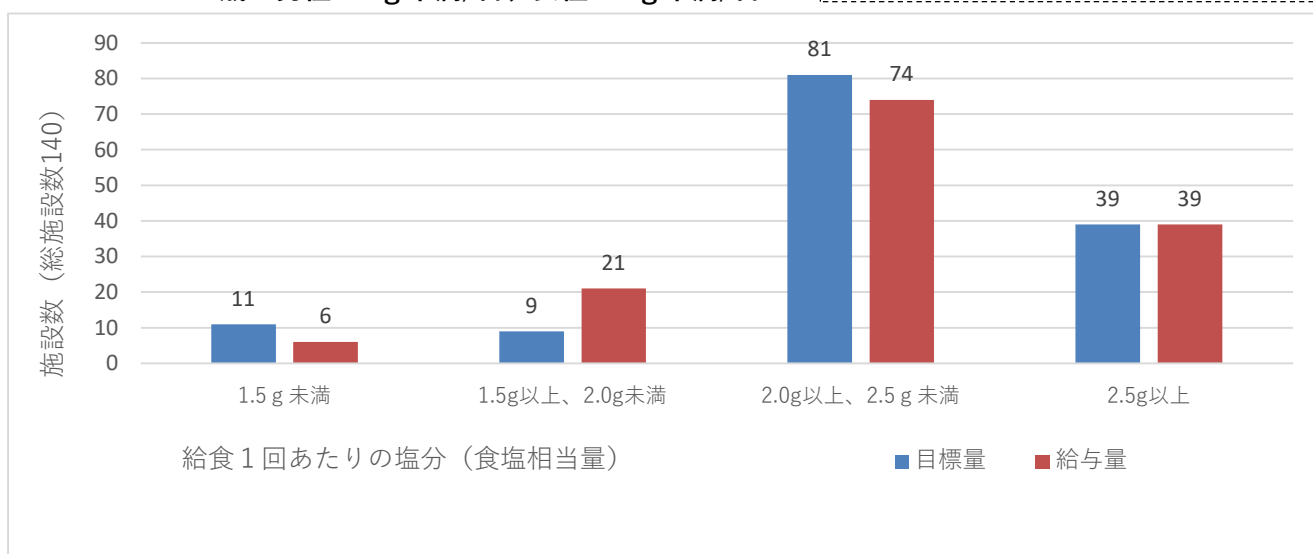
目標量

3～5歳	男性・女性	3.5g未満/日
6～7歳	男性・女性	4.5g未満/日
8～9歳	男性・女性	5.0g未満/日
10～11歳	男性・女性	6.0g未満/日
12～14歳	男性	7.0g未満/日
	女性	6.5g未満/日

【参考】学校給食摂取基準（文部科学省）

ナトリウム（食塩相当量（g/1回））

児童（6～7歳）	1.5g未満/1回
児童（8～9歳）	2.0g未満/1回
児童（10～11歳）	2.0g未満/1回
生徒（12～14歳）	2.5g未満/1回

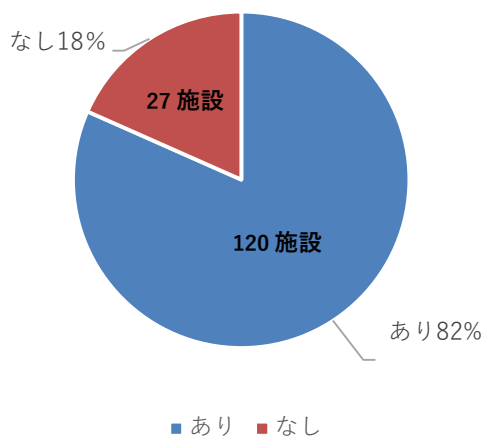


* 1.5g未満、2.0g未満、2.5g未満として報告いただいた場合、それぞれ1.5g以上、2.0g以上、2.5g以上の区分に計上されます。

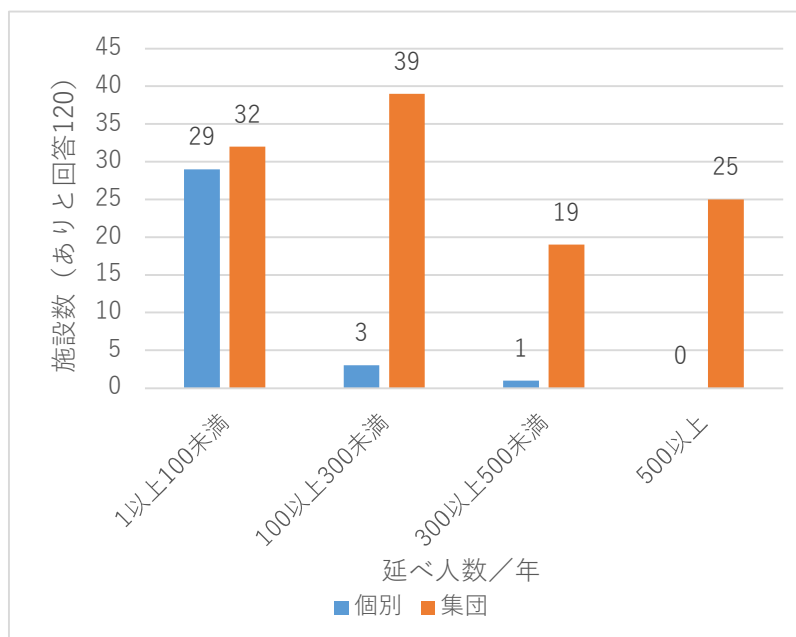
* 給食対象者が3～14歳の年齢区分の施設を対象としています。

8. 児童・生徒への栄養教育について

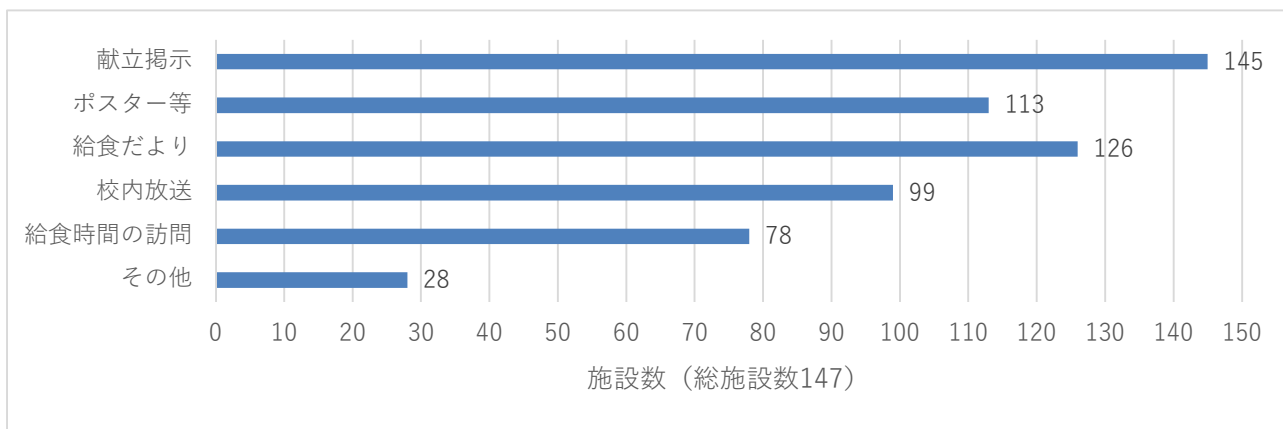
・栄養指導（教育）実施の有無



・児童・生徒への個別・集団指導（教育）の実施施設数



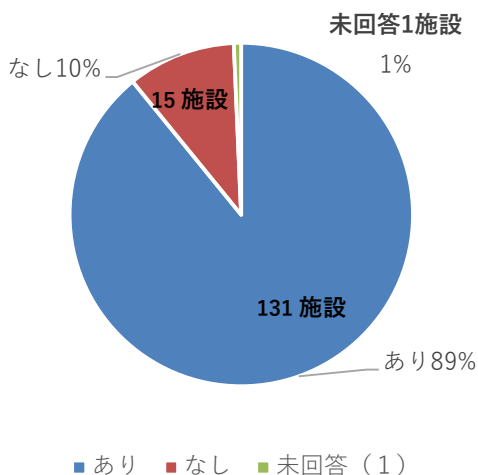
9. 健康・栄養情報の提供方法



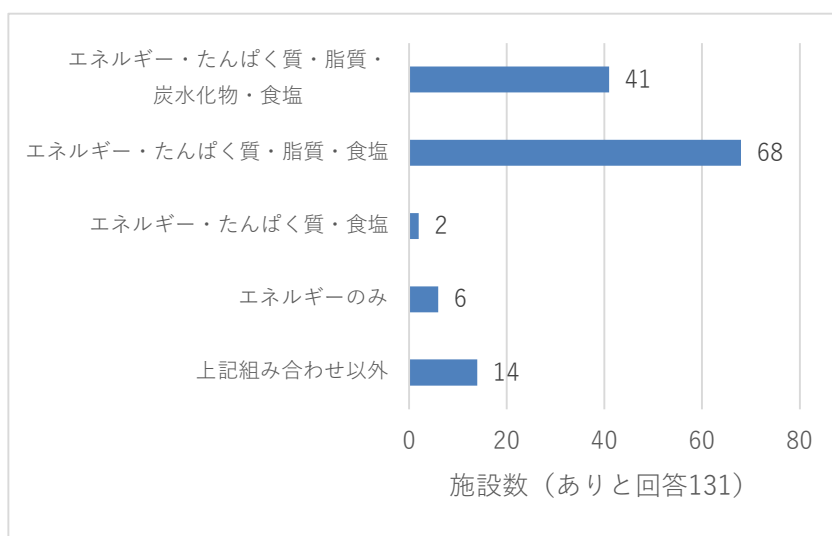
*その他の情報提供：ホームページ、食育の授業、学級だより、食育コーナー、掲示板、教科等での授業、校内ブログ、動画配信、全校集会等

10. 栄養成分表示について

・栄養成分表示の有無



・熱量、たんぱく質、脂質、食塩等の主要栄養成分の表示内容



*その他の栄養成分表示：食物繊維、ビタミン類、カルシウム、鉄等

11. 非常災害対策について

